

国政に関する考え方

氏名 田所嘉徳

基本理念 (国政の現状認識と目指すべき国のビジョン)

(現状認識)

長引くコロナ禍にあって社会経済活動に大きなダメージを受けており、この収束とコロナ後の国づくりが大きな課題となっている。また、地球温暖化に関連して風水害が激甚化、頻発化していることや、地震災害のリスクも高まっており、防災・減災対策が不可欠である。

さらに、北朝鮮の核開発やミサイル発射、隣国との領土問題、中国とアメリカ・日本との経済的確執など、内外に大きな問題を抱えて、政治の役割が益々大きくなっている。

(ビジョン)

次なる感染症の危機がいつ訪れるともしれないことから、その性質に応じたワクチンや治療薬が迅速に開発できるような基礎研究に力を入れておくことや、防災・減災対策のためのインフラの整備を計画的に進めるなどにより、安全・安心な国づくりを進める。デジタル化やロボット技術、高度情報通信技術などの活用を進め、快適で豊かな空想科学社会を現実のものにする。大都市への一極集中から、ICTを活用して人や企業が地方にシフトする、多極分散型の地方の個性が輝く時代を目指す。国民と領土を守るための確固たる防衛、外交政策の確立。

すぐに行う重要政策 (優先順位の高い順に3つ)

【第1優先】

コロナ禍の収束をはかるために、ワクチン接種や経口治療薬等の開発・普及促進を進めるとともに、コロナ禍により毀損された経済の活力を取戻すための、積極的な経済対策。

【第2優先】

河川整備やインフラの耐震化など、防災・減災対策を計画的に実施して、安全な国土づくりを進める。

【第3優先】

デジタル化やロボット技術、ICTなどの積極的な活用による、利便性の高い快適な社会づくり。

4年間で行う重要政策 (優先順位の高い順に3つ)

【第1優先】

AI や ICT、先端科学技術を活用した働き方改革により、ワークライフバランスのとれた生活大国を目指す。

【第2優先】

感染症や自然災害のリスクが高い大都市への一極集中から、自然豊かな地方に人や企業がシフトする、豊かな地方の時代づくり。

【第3優先】

地球温暖化による気候変動により、大規模自然災害が多発するようになっていることから、温室効果ガスの排出を低減するなどの、環境対策を推進する。